

二重ロック式吊り治具

# 鉄筋吊りクランプ

HP製品紹介  
QRコード



Point ① 遠隔操作で簡単取り外し!

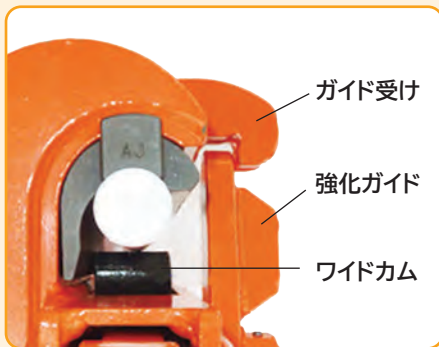
Point ② 安全確保!  
二重ロック機構

Point ③ 強化ガイドで  
鉄筋棒のズレ防止!

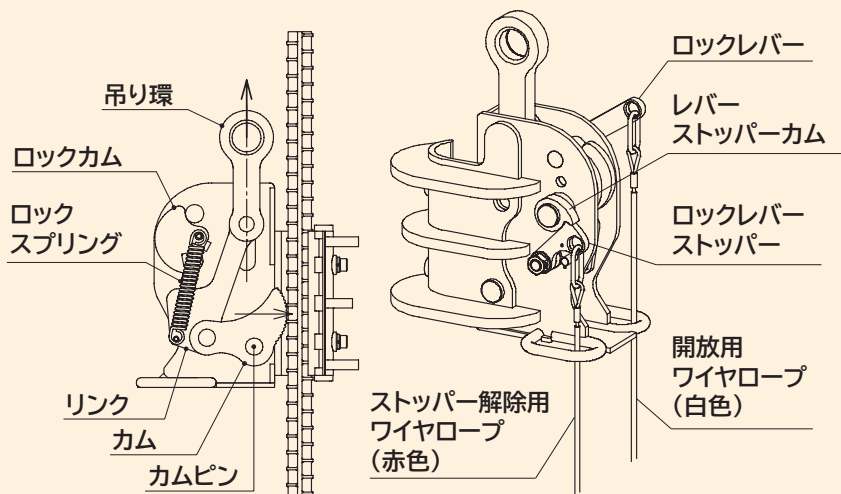
クランプ  
最大使用荷重  
**1.5 ton**



## 鉄筋棒のズレ・落下事故を防ぐ安全機構!



対応可能鉄筋径  
D19~D41 (φ18~φ48)



ここが便利

### レバー式ロック装置 (締め付け開放機構)

ロックカムがリンクを押し上げる機構です。  
ロック位置にセットすると、スプリング張力により締め付け用カムがせり出し、吊り荷を押しつけ、誤作動を防止します。

ここが便利

### 遠隔操作で クランプの開放・取り外しが可能!

2本の操作ワイヤロープを引くことにより自動開放が可能。  
ワイヤの長さは通常5m(最長9m)。  
長さに指定がある場合はお問い合わせください。

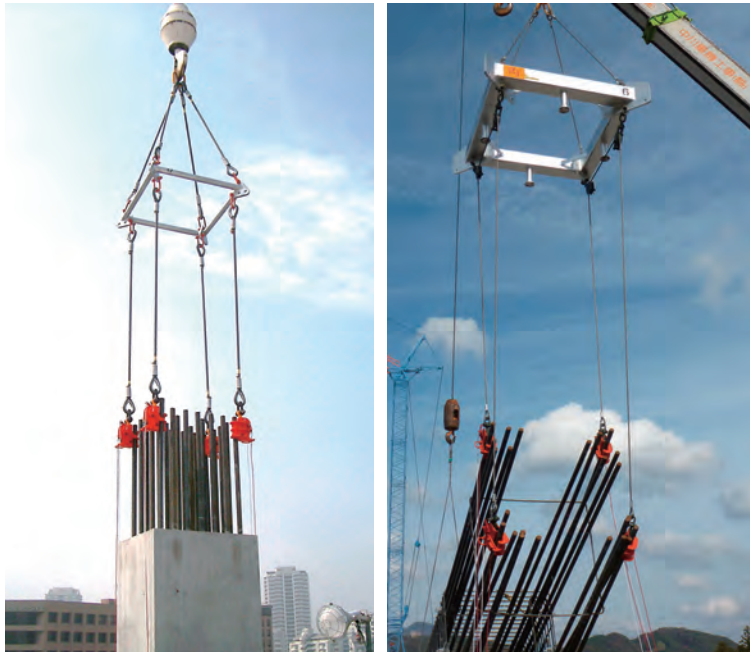
ここが便利

### 二重ロック機構

ロックレバーと連動している  
レバーストッパーカムがロックレバーストッパー  
によって動きを制御し、ロックレバーだけでは  
開放できない機構です。

角型天秤と組み合わせて柱吊りにも対応!

鉄筋地組柱や鉄筋棒の吊り上げ最適、PC柱のサポート吊りにも!



建て起こし作業も対応!  
作業に合わせてご提案いたします

鉄筋地組柱吊り作業確認シート (P.146)

**作業確認シート 鉄筋地組柱吊り**

鉄筋地組柱吊り 参考例 現場で使用する前に必ず確認してください。

◎建て起こし作業あり ◎建て起こし作業なし

**確認事項**

① 環子リング寸法確認  
 環子リングの寸法に適合するものを使用してください。  
 ※天板の寸法に適合するものを使用してください。

② 鉄筋吊りクランプ  
 鉄筋吊りクランプの寸法に適合するものを使用してください。  
 ※天板の寸法に適合するものを使用してください。

③ 鉄筋棒サイズ確認  
 鉄筋棒のサイズに適合するものを使用してください。

④ 鉄筋地組柱質量

◎建て起こし作業の有無  有り  無し

お問い合わせの際にご活用下さい!

選定確認シートはHPからもダウンロード可能!▶



ワンタッチ式小梁吊りクランプ  
**KT-1**



- Point 1**  
取り扱いやすいコンパクトタイプ!  
製品質量1.7kg
- Point 2**  
ピンの一体化でボルト・ナットの落下を防止!
- Point 3**  
縦吊り(3ton)はもちろん、  
横吊り(2ton)にも対応!



寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## クランプ

## 鉄筋吊りクランプ

HP製品紹介  
QRコード

リース／販売

型番：CSBL

## □ ラインナップ

製品名	型番
鉄筋吊りクランプ	CSBL-1.5

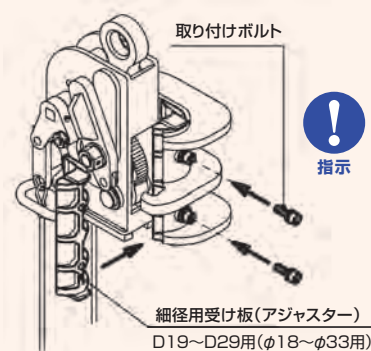


## 🔧 製品仕様

使用可能鉄筋径	D19～D29 (φ18～φ33) アジャスター付 D32～D41 (φ32～φ48) アジャスター無
最大使用荷重	1.5ton

## ⚠️ 注意事項

- 鉄筋径を確認いただき、径に合った仕様にてご使用ください。
- 建て起こし作業がある場合には必ず滑車をご使用ください。
- 滑車等を使用して、均等に荷重がかかるように使用していただける場合のみ、最大使用荷重は1.5ton×4台=6ton
- 滑車等を使用しない場合は、4点吊りであっても3点吊りと考え最大使用荷重は1.5ton×3台=4.5ton  
クランプの取り付け位置、スリングやワイヤの長さ等全てが一定であることが必要となります。
- アジャスターは必ずイーグル・クランプ社の純正品を使用してください。純正品の取り付けはボルト2点止めです。取付工具、六角レンチを使用してください。(販売)
- 取扱説明書を必ず熟読し操作方法等を全て厳守してください。



- 最大使用荷重 (1台/1.5t) を超える吊り荷でのご使用は厳禁です。
- 丸棒・パイプなどを吊る場合は最大使用荷重の1/5未満 (0.3t未満) のものは使用出来ません。
- 推奨する吊り角度を超えて使用しないでください。
- 建て起こし作業時に滑車を使用しない場合に吊り荷が落下する危険があります。

# 鉄筋吊りクランプ

使用荷重 1.5ton

製品質量 10kg

型番 CSBL-1.5

HP製品紹介  
QRコード



## 寸法図

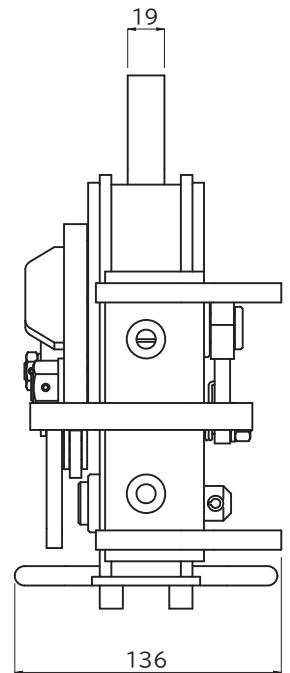
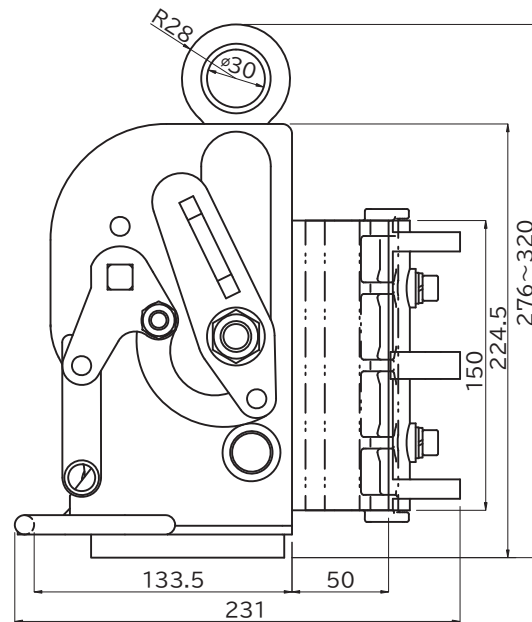
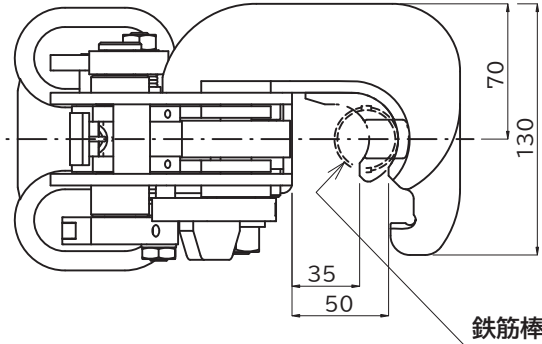
開放時



ロック時



ロック解除用操作ワイヤ  
通常5m(最長9m)

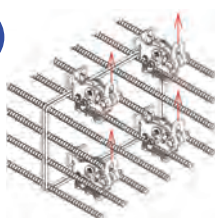


### ⚠ 横向き吊り荷のクランプ取り付け方

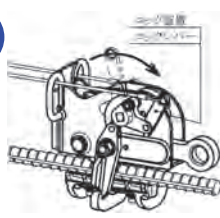
引き起こしの際は、ロックレバー側を上にして取り付けてください。反対向きに取り付けると、クランプが回転し、カムが吊り荷から外れる(クランプされていない状態になる)恐れがあり危険です。



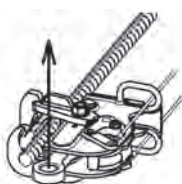
指示



指示



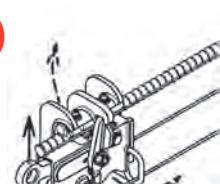
禁止



逆向きも禁止



禁止

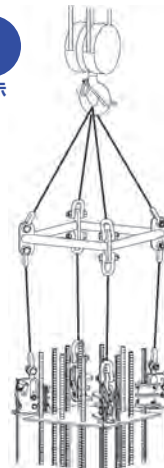


### ⚠ 天秤の使用

多点吊りの場合は、クランプおよび吊り荷同士が干渉しないように、吊り荷の状況に合った天秤等を使用してください。



指示

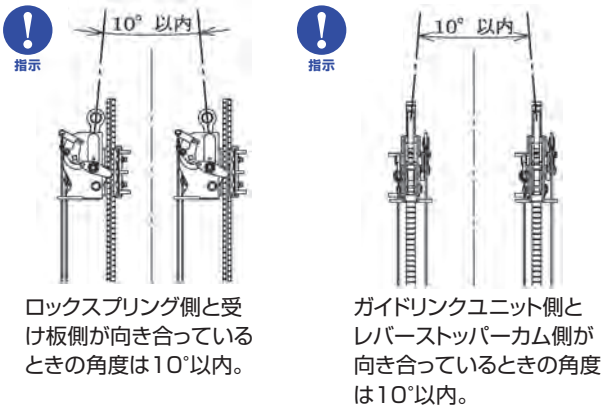
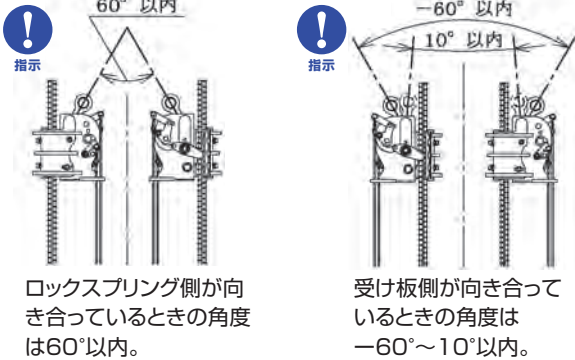


指示

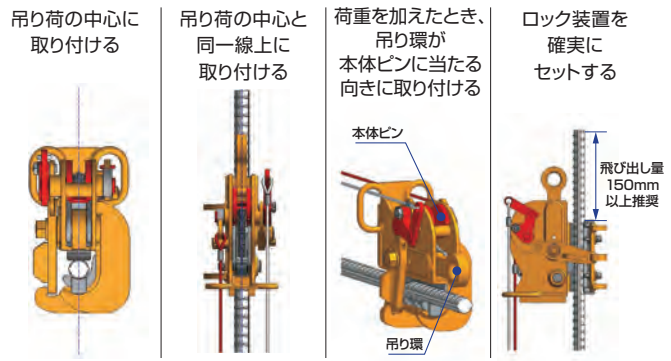


## 吊り角度の厳守

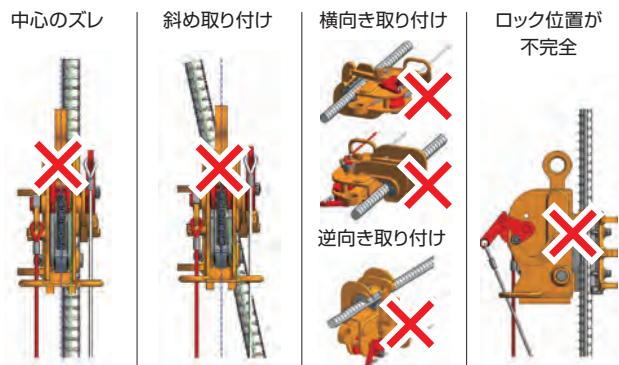
(天秤や滑車を使用した垂直吊り推奨)



## 指示している取り付け方



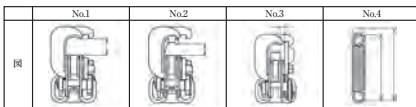
## 禁止とする取り付け方



## 当社では必ず『製品検査報告書』を出荷時に提出します

[リース会社用]  
鉄筋吊りクランプ CSBLII型 製品検査報告書

No.	項目	点検箇所 No.	基準	測定値
1	本体開口寸法(細径用受け板取り外し時)	1-1	53.0mm以上は不可	50.40
2	本体開口寸法(細径用受け板取り付け時)	16-1	38.0mm以上は不可	
3	カムとガイドの間隔寸法	B-3	18.0mm以上は不可	14.50
4	ロックスプリングの伸び ※[2.5] [3.0]はスプリングの規格です。適応値のみ記入してください。	15-1	86.1mm以上は不可 92.4mm以上は不可	82.20



No.	項目	点検箇所 No.	確認
5	刻印が明確に表示され、読み取ることが出来るか	A-1	V
6	本体が取り付けられている鉄板またはシールについて、明確に表示されているものが取り付けられているか	A-1	V
7	スムーズに作動しているか	B-1,2	V
8	ガイド取付ボルトの曲がりが無い	1-5	V
9	溶接部に異常はないか	1-6	V
10	カムの歯の摩耗(0.5mm以上)欠け目詰まりがないか	4-1	V
11	カム部にゆるみがないか	4-3,13	V
12	「ロックスプリング」に変形および付着物(サビ等)がないか	15	V
13	「細径用受け板」が取り付けられ、ボルトが締め付けられているか	16-4	V
14	操作ワイヤロープに異常はないか	17,18	V
15	本体・部品に深さ2mm以上の傷がないか	全般	V
16	正常に組み立てられ、部品の取り付け忘れがないか	-	V
17	「スプリングピン」が差し込まれているか(一度抜いたものは使用禁止)	-	V
18	摺動部に注油を行ったか	-	V

検査実施会社 アルアイ株式会社 検査員 東京 太郎

※本表に記入するときは、必ず取扱説明書(詳細版)の点検マニュアルを参照して行ってください。  
(「点検箇所No.」等)  
※基準値を超えるものや異常のあるものは、取扱説明書にのっとり、部品の交換を行うか廃棄としてください。  
※製品番号は、クランプ本体にアルファベット3文字、数字4桁で刻印されています。(例.NRC-1234)  
※測定結果の測定値欄に、ノギス等の測定具で測定した値を記入する。(小数点第一位までを記入)  
※確認項目について検査を行い、異常がなければ確認欄に「V」を記入する。  
※納品時には、本書を添付していただきますようお願いいたします。

## 当社の点検!

### 返却時



カムの歯の摩耗や欠け、各部変形等を検収します。  
(摩耗や欠けがある場合交換します)

### 組み立て後



スプリングピンが正しく差し込まれているか?稼動はスムーズか?等をチェック。開口部等測定します。

### 分解~磨き~清掃~塗装



スプリングピンは毎回新しい物と交換します。



各部に注油し、注意確認シールを貼り、再度チェック。



測定し、基準値に満たない製品は、絶対に出しません